

平成 24 年度企業庁事業決算見込みの概要について

平成 25 年 8 月 12 日
 千葉県企業庁管理・工業用水部財務課
 電話 043-296-8483

1 土地造成整備事業会計

企業庁では、「企業庁新経営戦略プラン(改訂版)」に基づき、平成 24 年度末までに、一部地区を除き土地造成整備事業に一定の区切りをつけることを目途に、保有土地の分譲を進めるとともに、基盤整備や公共施設の引継ぎなどを推進してまいりました。この結果、プランの最終年度である平成 24 年度の決算は、

- 収益的収支については、土地分譲収入が 45 億円増の 166 億円となったことなどから平成 20 年度以来 4 年ぶりに 19 億円の黒字となりました。
- 資本的収支については、市町村等への引継ぎに向け道路や公園緑地などの整備を推進したことなどから 149 億円の支出超過となりましたが、留保資金により補てんします。
- 資金残高は、1 億円増加し 531 億円となりました。

なお、一部地区を除きこれまでに造成した土地等の資産は、平成 25 年度に設置した「造成土地整理事業会計」へ移管したところであり、今後は、7 月 29 日に発表した「企業庁造成土地整理事業及び土地造成整備事業の清算取組方針」に基づき、事業の完了と着実な清算を図ってまいります。

(1) 収益的収支決算額（土地分譲等に係る決算額）

(単位：百万円)

区 分	平成 24 年度 A	平成 23 年度 B	C=A-B	C/B (%)
収 入 ①	32,198	19,426	12,772	65.7
土地分譲収入	16,568	12,093	4,475	37.0
過年度損益修正益	7,969	2,338	5,631	240.8
支 出 ②	30,341	28,263	2,078	7.4
土地売却原価	15,515	19,389	△3,874	△20.0
過年度損益修正損	6,171	1,113	5,058	454.4
調整額※1 ③	25	36	△11	△30.6
収支差 ①-②+③	1,882	△8,801	10,683	

収益的収入は、幕張新都心地区や千葉ニュータウンなどで土地の売却が進んだほか、過去に分譲した土地原価の修正等に伴い過年度損益修正益が 80 億円生じたことなどから、前年度より 128 億円増の 322 億円となりました。

一方、収益的支出は、土地売却原価が前年度より 39 億円減少したほか、UR 都市機構との過年度の収入額の不均衡の調整に伴い過年度損益修正損が 51 億円増加したことなどから、前年度より 21 億円増の 303 億円となりました。

※1 調整額：資本的収支分の消費税を調整したものです。

(2) 資本的収支決算額（基盤整備に係る決算額）

(単位：百万円)

区 分	平成 24 年度 A	平成 23 年度 B	C=A-B	C/B (%)
収 入 ①	3,448	20,692	△17,244	△83.3
他 会 計 貸付金返還金	2,768	19,066	△16,298	△85.5
支 出 ②	18,387	25,131	△6,744	△26.8
工 事 費	4,187	3,243	944	29.1
公 債 費	9,730	18,577	△8,847	△47.6
収支差 ①-②	△14,939	△4,439	△10,500	

資本的収入は、一般会計からの貸付金の返済が前年度に終了したことなどから、172億円減の34億円となりました。

一方、資本的支出は、工事費が9億円増加したものの、企業債の償還額が88億円減少したことなどから、前年度より67億円減の184億円となりました。

なお、149億円の支出超過については、過去の利益を留保している減債積立金と財政調整積立金で補てんします。

(3) 資金残高

(単位：億円)

	平成 24 年度 A	平成 23 年度 B	C=A-B
資金残高	531	530	1

(4) 損益計算書（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(単位：百万円)

費 用		収 益	
営業費用	22,333	営業収益	20,806
営業外費用	399	営業外収益	1,627
特別損失	7,570	特別利益	9,751
当期純利益	1,882		
合 計	32,184	合 計	32,184

(5) 貸借対照表（平成25年3月31日）

(単位：百万円)

資 産		負債及び資本	
固定資産	220,154	固定負債	17,012
完成資産	120,649	流動負債	5,803
未成事業資産	87,319	負債計	22,815
流動資産	54,168	資本金	220,709
		剰余金	238,766
		資本計	459,475
合 計	482,290	合 計	482,290

(参考)

(1) 土地分譲収入の状況

(単位：百万円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
合 計	16,568	12,093	7,113
内 訳			
幕張C	5,903	740	68
千葉北部	4,465	2,156	1,820
幕張A	1,797	1,797	129
浦安2期	1,094	98	235
松崎	888	390	78
千葉港中央	871	1,256	314
富津	497	962	753
京葉港	118	180	3,133
木更津南部	108	199	93
東葛飾北部流山	-	2,328	-
関宿	-	893	215
その他	827	1,094	275

(2) 企業債残高の推移

(単位：億円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
企業債残高	1,083	891	707	565	491	388	208	114

企業債残高は、94 億円を償還し、新たな借入れを行わなかったことから 114 億円となりました。企業債は、清算期間(平成25年度～27年度)内に完済する予定。

2 工業用水道事業会計

- 収益的収支については、東日本大震災による災害復旧工事や放射性物質を含む汚泥処理などのため、支出額が 2 億円増加したものの、収入の大宗を占める給水料金収入等が前年度並みであったことから 26 億円の黒字となりました。
- 資本的収支については、老朽化した施設の更新や耐震化を推進したほか、他会計借入金の返還を行ったことなどから 88 億円の支出超過となりましたが、留保資金により補てんします。
- 資金残高は、14 億円減少し 162 億円となりました。

(1) 収益的収支決算額（給水に係る決算額）

(単位：百万円)

区 分	平成 24 年度 A	平成 23 年度 B	C=A-B	C/B (%)
収 入 ①	13,859	13,273	586	4.4
給水料金収入等※1	12,891	12,959	△68	△0.5
負担金 <small>(経営負担金を除く)</small>	544	152	392	257.9
支 出 ②	11,105	10,875	230	2.1
浄配水費等	5,509	5,133	376	7.3
支払利息	788	925	△137	△14.8
調整額※2 ③	△109	△123	14	△11.4
収支差 ①-②+③	2,645	2,275	370	

収益的収入は、うるう年の影響等はあったものの給水料金収入等が前年度並みであったほか、未利用配水管撤去工事に伴う負担金収入が 5 億円増加したことなどから、前年度より 6 億円増の 139 億円となりました。

一方、収益的支出は、東日本大震災関連の経費などのため浄配水費等が 4 億円増加したものの、企業債残高の減少により支払利息が 1 億円減少したことなどから、前年度より 2 億円増の 111 億円となりました。

※1 給水料金収入等：給水料金収入に経営負担金を加えたものです。

※2 調整額：資本的収支分の消費税を調整したものです。

(2) 資本的収支決算額（施設設備に係る決算額）

(単位：百万円)

区 分	平成 24 年度 A	平成 23 年度 B	C=A-B	C/B (%)
収 入 ①	2,616	3,437	△821	△23.9
企業債	1,760	2,410	△650	△27.0
支 出 ②	11,426	9,116	2,310	25.3
工事費等	1,452	990	462	46.7
企業債償還金等	4,160	3,979	181	4.5
他会計借入金返還金	3,618	916	2,702	295.0
収支差 ①-②	△8,810	△5,679	△3,131	

資本的収入は、企業債の借入れが 7 億円減少したことなどから、前年度より 8 億円減の 26 億円となりました。

一方、資本的支出は、工事費等が 4 億円増加したほか、企業債の償還額が 2 億円増加したことなどから、前年度より 23 億円増の 114 億円となりました。

88 億円の支出超過については、過去の利益を留保している減債積立金や財政調整積立金等で補てんします。

(3) 資金残高 (単位：億円)

	平成 24 年度 A	平成 23 年度 B	C=A-B
資金残高	162	176	△14

(4) 損益計算書 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

費 用		収 益	
営業費用	9,785	営業収益	10,519
営業外費用	810	営業外収益	2,488
特別損失		特別利益	233
当期純利益	2,645		
合 計	13,240	合 計	13,240

(5) 貸借対照表 (平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

資 産		負債及び資本	
固定資産	231,999	固定負債	10,541
流動資産	17,521	流動負債	1,218
		負債計	11,759
		資本金	135,086
		剰余金	102,675
		資本計	237,761
合 計	249,520	合計	249,520

(参考)

(1) 企業債残高の推移

(単位：億円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
企業債残高	500	488	477	472	457	442	429	407

企業債残高は、40億円を償還し、新たに18億円を借入れたことから407億円となりました。

(2) 他会計借入金残高の推移

(単位：億円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
他会計借入金残高	507	394	391	388	384	381	372	335